

離れた場所からインターネットで
リアルタイムに監視できる

監視カメラシステム

Mr. Net Watcher

最大16箇所
録画可能

主な機能

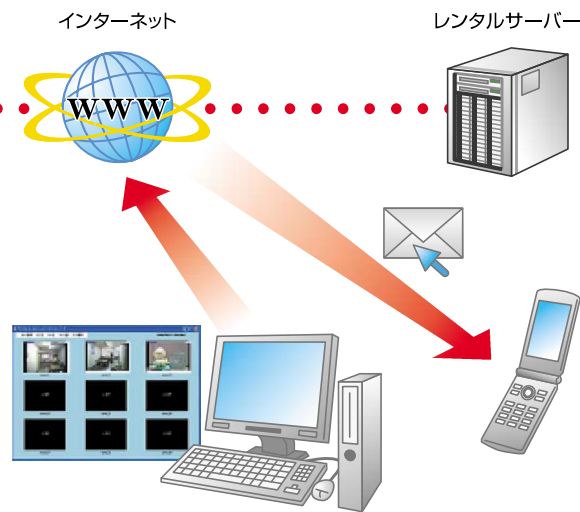
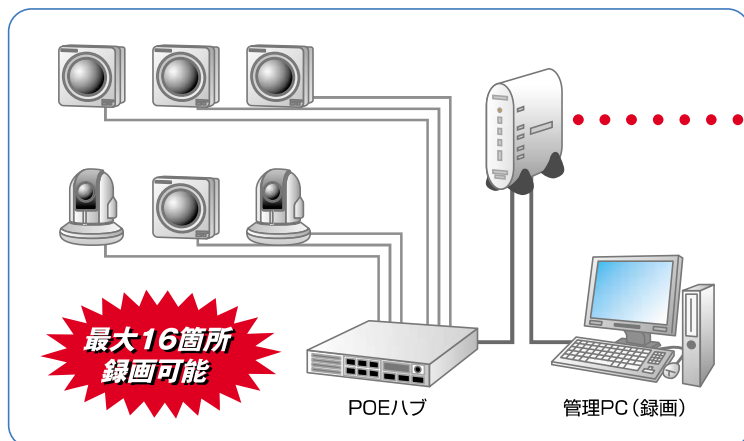
- 最大16箇所の画像録画が可能
- カメラの録画データを保管（保管日数設定）それ以前のデータは別のサーバーで保管可能
※オプション
- 保存されたデータの再生用ソフトによる再生が可能
- 離れた場所からでもインターネットを利用し、管理PCに送られてくる画像をリアルタイムで監視可能
※注意1：外部からのアクセスについてはルータなどの設定が必要な場合があります。
- WEB画像配信機能で遠隔地から各カメラの画像確認が可能
- 異常を検知すると、携帯電話等に画像添付でメール配信しリアルタイムで異常をお知らせ
- スナップショットの画像作成



Mr. Net Watcher

監視カメラシステム Mr.Net Watcher

システム構成図



※POEハブはSwitch-M8ePWR (MN27089) を推奨。
 ※POEハブからカメラに対して電源を供給することが出来、100mまで延長が可能。
 電源工事が困難な場所でもカメラの設置が可能となります。

オプション

- 管理PC内で格納されている画像データを別のサーバーに保存するオプションプログラムを有償提供。
 管理PCのハードディスク容量を超えて画像データの保存が必要な場合に、利用可能です。
- 警報監視機能 — 動作検出などカメラ機能の設定によって、警報監視が可能です。



用途

- 機械整備のトラブル監視装置として
- 生産現場の状況確認
- 資材置場・倉庫などの夜間監視
- 商店街・通学路の安全確認
- 公園などの状況把握・不審人物のチェック
- 学校・幼稚園・保育園など子供の様子確認や防犯対策
- 老人ホームや病院施設の安全確認
- 駐車場・駐輪場の不正監視/安全確認
- ビル・マンションなどの防犯対策
- 牧場・農園の状況確認
- 百貨店・スーパー・飲食店などの状況把握
 店舗の状況確認/レジの状況、接客や店内状況の確認と画像記録



注意事項

- 画像データの保管日数を多く設定すると、管理PC内のハードディスクの容量が枯渇し、システムの安定稼働のためには、適正な格納日数の設定で運用する必要があります。目安として1秒間に1枚の画像収集を行なう場合、1日(24時間)で約4GBのデータ容量になります。
- カメラの設置台数およびネットワーク構成によって、LANのトラフィックがネットワークのパフォーマンスが低下する場合があります。カメラシステムのネットワークを分離してネットワーク設計を行なうことを推奨します。

基本構成例

- 基本パッケージ**
- 監視カメラシステム
 パナソニックBBシリーズのカメラを推奨
 (無線対応やセンサー付、屋外用など目的に応じて選択可能)
-
- システム構成例**
- ネットワークカメラ
 - パソコン (Windows XP)
 - レンタルサーバー (オプションの画像保存を行なう場合)

動作環境

- インターネット環境必須
- 停電などの場合の画像保存をおこなうため、管理PCおよびPOEハブの電源保証のためにUPSの設置を推奨します。

[販売元]



株式会社 コアス

〒530-0005
 大阪市北区中之島3-2-18 住友中之島ビル
 大阪事業本部 営業部
 TEL: 06-6105-1125 FAX: 06-6105-1126
 URL <http://www.corps.co.jp>

[製造開発元]



株式会社ミューチュアル

〒541-0058
 大阪府大阪市中央区南久宝寺町2-1-2 竹田ビル201
 TEL.06-6267-1616 FAX.06-6267-1617
 ホームページ <http://mutual.jp>